



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月27日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン  
 コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 江藤 隆志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2532  
 財務本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	104,497	1.7	3,830	△59.0	3,395	△64.0	609	△89.9
2023年3月期第2四半期	102,715	26.4	9,336	33.7	9,428	50.0	6,032	55.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 10,433百万円(△21.4%) 2023年3月期第2四半期 13,281百万円(215.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	5.78	5.78
2023年3月期第2四半期	57.32	57.32

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	238,563	105,074	43.3	979.90
2023年3月期	207,890	97,040	45.8	905.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 103,234百万円 2023年3月期 95,310百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	20.00			
2024年3月期(予想)			—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	△0.3	13,000	△33.5	11,000	△38.3	4,500	△61.9	42.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	108,322,242株	2023年3月期	108,265,842株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,970,230株	2023年3月期	2,970,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	105,319,865株	2023年3月期2Q	105,242,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における経済環境は、欧米を中心としたインフレ進行や各国の金融引締め長期化への警戒、またロシアによるウクライナ侵攻も終わりが見えず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、「尖ったDXで、世界を丸く。」をスローガンに、持続可能な社会の実現に向け、医・食・住の諸課題をDXソリューションで解決するグローバル企業として、企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第2四半期累計期間の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

第1四半期より、後述の〔事業の種類別セグメント情報〕に記載の通り、従来の「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」の報告セグメントの区分を「ポジショニング事業」に変更しております。

売上高は、ポジショニング事業は減収となりましたが、一方、アイケア事業は好調な販売が持続し、また円安による影響も追い風に作用したことで、連結売上高は、104,497百万円（前年同期と比べ1.7%の増加）となりました。利益面では、実質的な物量ベースでの売上高が前年同期を下回ったため、人件費や開発費等の増加を吸収できず、営業利益は3,830百万円（前年同期と比べ△59.0%の減少）、経常利益は3,395百万円（前年同期と比べ△64.0%の減少）となりました。また第1四半期に発生した一過性の減損損失の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は609百万円（前年同期と比べ△89.9%の減少）となりました。

#### （事業セグメント毎の経営成績）

ポジショニング事業は、アジア・欧州は堅調に推移したものの、北米住宅建設市場の減速や景気不透明感に伴う買い控え長期化の影響で最大市場である米国で販売が伸び悩みました。円安の恩恵はあったものの、前年度第2四半期に特需（大型案件）があったこともあり、売上高は69,563百万円（前年同期と比べ△1.7%の減少）となりました。営業利益は、欧米を中心に新規雇用の凍結や販管費削減に向けた施策に着手したものの、営業活動費や人件費、開発費等の増加を吸収するには至らず、4,862百万円（前年同期と比べ△52.5%の減少）となりました。

アイケア事業では、大手眼鏡チェーン店向けを中心に成長事業に位置付けているスクリーニングビジネスが順調に進捗したことに加え、スクリーニングビジネスの持つ強みを生かした基盤事業の拡大も相俟つて、好調な販売が持続し、売上高は34,451百万円（前年同期と比べ9.4%の増加）となりました。営業利益は、売上高の増加の一方で、先行投資継続による費用増で、1,269百万円（前年同期と比べ△14.7%の減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①当第2四半期の財政状態の状況

当第2四半期末の財政状態は、総資産が238,563百万円、純資産が105,074百万円、自己資本比率が43.3%となりました。総資産は、主に売上債権等が減少したものの、棚卸資産やのれんの増加等により、前期末（2023年3月期末）に比べ、30,672百万円増加いたしました。また、純資産は、配当金の支払による減少があったものの、為替換算調整勘定等が増加したこと等により、8,034百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（2023年3月期末）から2.6%の減少となりました。

#### ②当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間（6ヶ月）における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、棚卸資産の増加、子会社株式や固定資産の取得等による「資金」の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少、また社債の発行等による「資金」の増加があったことにより、前年度末に比べ、2,400百万円増加し、17,351百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による「資金」の増加は、3,307百万円（前年同期は1,742百万円の増加）となりました。これは主に、棚卸資産の増加等による「資金」の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少等による「資金」の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による「資金」の減少は、17,065百万円（前年同期は4,494百万円の減少）となりました。これは主に、子会社株式や固定資産の取得による支出等による「資金」の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による「資金」の増加は、14,956百万円（前年同期は940百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払等による「資金」の減少があったものの、社債の発行等による「資金」の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2023年10月27日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,660	19,859
受取手形及び売掛金	47,454	44,243
商品及び製品	24,309	29,157
仕掛品	2,048	2,117
原材料及び貯蔵品	25,151	30,058
その他	8,375	10,268
貸倒引当金	△1,925	△1,596
流動資産合計	123,074	134,107
固定資産		
有形固定資産	32,848	37,417
無形固定資産		
のれん	8,994	19,479
その他	21,333	21,703
無形固定資産合計	30,328	41,182
投資その他の資産	21,638	25,855
固定資産合計	84,815	104,455
資産合計	207,890	238,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,389	16,727
短期借入金	20,712	20,484
リース債務	2,770	3,106
未払法人税等	1,486	2,769
製品保証引当金	1,890	1,815
その他	24,032	23,380
流動負債合計	67,282	68,283
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	2,058	1,988
リース債務	7,943	8,604
役員退職慰労引当金	42	39
退職給付に係る負債	4,470	3,803
その他	9,052	10,768
固定負債合計	43,567	65,205
負債合計	110,850	133,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,780	16,837
資本剰余金	20,682	20,739
利益剰余金	52,635	50,927
自己株式	△3,171	△3,172
株主資本合計	86,926	85,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891	1,931
繰延ヘッジ損益	14	-
為替換算調整勘定	7,313	15,346
退職給付に係る調整累計額	164	623
その他の包括利益累計額合計	8,384	17,902
新株予約権	63	63
非支配株主持分	1,666	1,776
純資産合計	97,040	105,074
負債純資産合計	207,890	238,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	102,715	104,497
売上原価	49,199	49,512
売上総利益	53,515	54,985
販売費及び一般管理費	44,179	51,154
営業利益	9,336	3,830
営業外収益		
受取利息	59	119
受取配当金	17	18
為替差益	1,075	588
その他	417	351
営業外収益合計	1,569	1,078
営業外費用		
支払利息	344	983
持分法による投資損失	214	70
投資有価証券評価損	479	-
その他	438	459
営業外費用合計	1,476	1,513
経常利益	9,428	3,395
特別損失		
減損損失	426	1,314
特別退職金	-	91
特別損失合計	426	1,406
税金等調整前四半期純利益	9,002	1,988
法人税、住民税及び事業税	2,672	2,101
法人税等調整額	204	△869
法人税等合計	2,876	1,232
四半期純利益	6,126	756
非支配株主に帰属する四半期純利益	94	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,032	609

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,126	756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	1,039
繰延ヘッジ損益	127	△14
為替換算調整勘定	7,055	8,176
退職給付に係る調整額	25	458
持分法適用会社に対する持分相当額	15	15
その他の包括利益合計	7,155	9,676
四半期包括利益	13,281	10,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,000	10,127
非支配株主に係る四半期包括利益	281	306

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,002	1,988
減価償却費	4,974	4,694
のれん償却額	796	1,029
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△170	△498
受取利息及び受取配当金	△76	△138
支払利息	344	983
減損損失	426	1,314
特別退職金	-	91
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△141	△1,434
売上債権の増減額 (△は増加)	5,245	7,288
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,855	△4,390
未収入金の増減額 (△は増加)	699	△344
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,148	△677
未払金の増減額 (△は減少)	457	△422
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,176	△442
その他	△6,172	△3,916
小計	5,204	5,126
利息及び配当金の受取額	99	138
利息の支払額	△353	△963
特別退職金の支払額	-	△91
法人税等の支払額	△3,207	△901
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,742	3,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△606	△28
定期預金の払戻による収入	-	501
有形固定資産の取得による支出	△2,039	△3,668
有形固定資産の売却による収入	34	67
無形固定資産の取得による支出	△1,144	△1,460
投資有価証券の取得による支出	△278	△574
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△11,680
事業譲受による支出	△11	-
長期貸付けによる支出	-	△302
その他	△448	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,494	△17,065

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,846	△1,517
長期借入金の返済による支出	△2,375	△129
社債の発行による収入	-	20,000
社債の償還による支出	△10,000	-
リース債務の返済による支出	△796	△961
配当金の支払額	△2,733	△2,316
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	-	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	940	14,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,034	1,203
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	223	2,400
現金及び現金同等物の期首残高	19,009	14,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,232	17,351

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社は当連結会計年度を初年度とする3ヵ年の「中期経営計画2025」を策定し、その中の基本方針の一つである「基盤改革」として、「ポジショニング事業の効率最大化」を掲げております。これまではスマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーにおきまして地域を軸とした管理が中心でありましたが、今後はグローバルな競争優位性を高める為に事業効率を最大化することを重要視し、スマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーをポジショニング事業として管理していくことを主軸として参ります。

この方針により、顧客とマーケットを重視した製品・ソリューション開発をより一層加速させるとともに、適切且つ有用な経営情報の開示を行うため、以下の通り、報告セグメントの区分変更をしております。

報告セグメントを、従来の「スマートインフラ事業」「ポジショニング・カンパニー」「アイケア事業」及び「その他」の4区分から、「ポジショニング事業」「アイケア事業」及び「その他」の3区分に変更しております。

従来のセグメント区分との関係は、次の通りとなります。

「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」として区分していた事業は、新たに「ポジショニング事業」に区分しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ポジショニング事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,755	31,372	586	102,715	—	102,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	119	1	120	△120	—
計	70,755	31,492	588	102,836	△120	102,715
セグメント利益又はセグメント損失(△)	10,243	1,487	△204	11,526	△2,190	9,336

(注) セグメント利益の調整額△2,190百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ポジショニング事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,557	34,316	623	104,497	—	104,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	134	2	143	△143	—
計	69,563	34,451	625	104,640	△143	104,497
セグメント利益又はセグメント損失(△)	4,862	1,269	△91	6,040	△2,209	3,830

(注) セグメント利益の調整額△2,209百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

## 〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	41,979	22,274	5,732	9,367	5,584	84,938
連結売上高						102,715
連結売上高比(%)	40.9	21.7	5.6	9.1	5.4	82.7

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	36,594	26,307	6,556	9,281	7,069	85,809
連結売上高						104,497
連結売上高比(%)	35.0	25.2	6.3	8.9	6.8	82.1

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ